

青梅市社会教育委員会議6月定例会会議録

平成28年6月21日

201会議室

出席者 委員 9名

事務局 3名

1 開 会

【議 長】九州では大変な大雨、しかし関東では水不足。近所の水田でも普段ポンプアップして水を蓄えているが、とうとう消防ポンプを使って対策をしたとの事。自然を注視していかなければならない季節である。

【課 長】6月定例議会が終わった。社会教育関係の一般質問はなかった。新生涯学習施設については、基本計画、基本設計の策定に向け、7月下旬には業者が選定される。議会に報告したのち、業者と基本計画を作っていく。各種委員の意見、利用者アンケートを活かした計画を作っていく予定。

2 報告事項

(1) 青梅市放課後子ども教室について (報告資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】青梅市放課後子ども教室が成木小を加えてスタートしたとの事だが、何か意見はあるか。

【委 員】成木小では15日水曜日から体験教室が始まった。全校生徒81人中21人が申し込み、20人が体験教室に参加した。今後が楽しみである。

(2) 青梅市社会教育委員会議5月定例会会議録について (報告資料 2)

【事務局】事務局から概要説明。訂正等あれば今月中に事務局へお知らせいただきたい。

(3) その他

特になし

3 協議事項

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の財政状況に対する今後の対応について (協議資料 1-1~3)

【事務局】都市社連協の財政状況が近年の会場費等の増加により厳しくなっている。ブロック活動費の削減、活動報告書作成費の削減、定期総会終了後の研修会を社会教育委員から選出、議事録作成委託を精査する、など現在の収入額に見合った運営を今後行っていく提案が出された。この提案について、意見がある場合は今月中に直接事務局へお願いしたい。

【議 長】7月19日に開かれる理事会において主たる議題になる。青梅市も

議長と事務局で出席をする。市としての意見を持っていくので委員の意見をいただきたい。

指定管理者制度の導入により、各市町とも会場費が増加傾向にあるとの事だが、青梅市に当てはめた場合はどうなのか。

【事務局】今の市民会館を想定すると、会場費はかかる。

【議長】たとえば、減免措置が期待できる財政が豊かな市に会場を固定するという案も、持ち回りなので引き受けるところはないとは思いますが、いろいろな方法はあると思う。

【委員】東京都の補助を引き出すとかはできないのか。

【事務局】関東甲信越静大会が平成33年度東京で開かれる。その時の会長市、副会長市が集まって話し合いを行っている。市だけではできないので、東京都も出ている。どういった形で補助してもらえるか協議している。23区は入っていない。ただ、前回東京で開催した際の会場は23区内で行っている。それをふまえて、今後東京都がどのような補助を行うかは事務局同士の話し合いの中で東京都と話を進めている。

【委員】報告書作成などで支出を抑えるしかないと思う。

【委員】2,000円の寄付の話はなくなったのか。

【議長】寄付の話は全国社会教育委員連合の話なので別の話である。

【委員】今まで開催されているのは公共施設という事だが、手続きによっては、無料で借りられる民間施設もある。場合によっては、民間施設も検討したらどうか。

【議長】今月までに意見を事務局まで出してほしい。

(2) その他
特になし

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成28年7月19日(火)